

**第6回（2006年度）佐治敬三賞は
たけふ
「武生国際音楽祭2006」に決定**

財団法人 サントリー音楽財団（理事長・堤剛）は、わが国で実施された音楽を主体とする公演の中から、チャレンジ精神に満ちた企画でかつ公演成果の水準の高いすぐれた公演に贈る「佐治敬三賞」の第6回（2006年度）受賞公演を「武生国際音楽祭2006」に決定しました。

●選考経過

1. 応募のあった2006年実施公演について2007年1月14日（日）東京・丸の内の東京會館において、選考委員9名により第一次選考を行った。
2. 引き続き3月11日（日）京王プラザホテルにおいて最終選考会を開催、選考委員9名により慎重な審議の結果、第6回（2006年度）佐治敬三賞に「武生国際音楽祭2006」が選定され、13日（火）理事会において正式に決定された。

●賞金は200万円。

●選考委員は下記の9氏。

礒山 雅・伊東信宏・岡田暁生・岡部真一郎・白石美雪
榎崎洋子・沼野雄司・船山 隆・三宅幸夫

（敬称略・50音順）

<贈賞理由>

武生国際音楽祭は、様々な意味で複合的・包括的な広がりを持つ意欲的な活動を展開した。そのプログラムは、モーツァルト、シューマンなどの古典から内外の作曲家の新作初演まで、リサイタルからオーケストラと合唱の共演によるミサ曲の演奏まで、多岐に渡っている。メイン会場の市民文化センターでの演奏会に加え、寺院、病院、学校、駅前、そして蕎麦屋やケーキ店などでのライブまで、多様なかたちで多くの人々が音楽に直接触れる機会を提供した。個々の演奏／作品の水準の高さに加え、さらに、作曲ワークショップ、夏期アカデミーも同時開催され、作曲・演奏の両面で、次世代を担う人材の育成にも目配りがされている。人口が9万に満たない小都市で、音楽監督の細川俊夫を中心に、アルディッティ弦楽四重奏団、ロバート・エイトケン、ハンス＝マルティン・シュナイト、今井信子、伊藤恵、平松英子ら、国際的な顔ぶれが揃い、若手や学生など音楽家の卵たちと、地元のボランティアの人々が力を合わせて、文字通りの手作りの催しとして音楽祭が成り立っている点は特筆に値する。海外の音楽祭との提携などを含め、最先端の芸術的視点と地域の力との融合が、絶妙のバランスを保ち、活気に満ちた音楽の場が生み出された。様々なチャレンジを机上のプランに留まらせることなく実現し、質の高い音楽を創出せしめたこの音楽祭は、佐治敬三賞の精神に相応しい大きな成果を上げた。

<公演概要>

名称：武生国際音楽祭2006

日時：2006年9月2日（土）～10日（日）

会場：越前市文化センター 大ホール・小ホール

スケジュール：9/2	（土）15：00	大ホール	オープニングコンサート
9/3	（日）14：00	大ホール	伊藤 恵 ピアノリサイタル
	17：00	大ホール	新たな地平コンサート I
9/4	（月）19：30	大ホール	室内楽コンサート
9/5	（火）19：30	大ホール	ジャパン・ユース・フィルハーモニック オーケストラ コンサート
9/6	（水）19：30	大ホール	アルディッティ弦楽四重奏団
9/7	（木）19：30	大ホール	平松英子ソプラノリサイタル
9/8	（金）17：00	大ホール	新たな地平コンサート II
	19：30	大ホール	細川俊夫と仲間たち

9/9 (土)	13:00	小ホール	新たな地平コンサートⅢ
	16:00	小ホール	新たな地平コンサートⅣ
	19:30	大ホール	今井信子ヴィオラリサイタル
9/10 (日)	10:00	大ホール	夏季アカデミーコンサート
	16:00	大ホール	ファイナルコンサート

メインコンサート：9公演

作曲ワークショップ（新たな地平コンサート）：4公演

夏季アカデミーコンサート：1公演

スクールコンサート：1公演

街中コンサート：16公演

特別企画 ろうそく能：1公演

合計：32公演

出演：音楽監督＝細川俊夫

ハンス＝マルティン・シュナイト、ジャパン・ユース・フィルハーモニック、
ムジークファブリック、アルディッティ弦楽四重奏団、
ロバート・エイトケン、ティモ・コルネホン、今井信子、伊藤恵、
吉野直子、平松英子、宮田まゆみ、鈴木俊哉、中川賢一、山本純子、
千々岩英一、デヴィッド・キム、石川星太郎、寺谷千恵子、畑儀文、
福島明也、新納洋介、金井亜沙美、ソンウン・キム、
武生国際音楽祭2006フェスティバル合唱団

主催：武生国際音楽祭推進会議 (財)越前市文化振興事業団

以 上

(ご参考)

佐治敬三賞について

(財)サントリー音楽財団(理事長・堤剛)は、故・佐治敬三(元サントリー株式会社社長、元サントリー音楽財団理事長)の功績を記念して、2001年度(平成13年度)から「佐治敬三賞」を創設しました。

この「佐治敬三賞」は佐治の音楽への深い愛情と理解およびチャレンジ精神、パイオニア精神を承継し、新しい世紀のわが国における音楽公演活動の一層の振興を願って、氏の名を冠した新しい賞として制定されました。

この賞は、毎年わが国で実施された音楽を主体とする公演の中から、チャレンジ精神に満ちた企画でかつ公演成果の水準の高いすぐれた公演に贈られるもので、応募のあったものの中から選定されます。賞金は200万円。

故・佐治敬三は、早くから文化事業への支援に力を入れ、特に音楽界においては鳥井音楽財団(現サントリー音楽財団)を設立、サントリー音楽賞をはじめとするわが国の洋楽の振興を目的とした諸事業のほか、東京初のコンサート専用ホール「サントリーホール」の建設・運営などを行ってきました。

1999年11月3日に急逝した佐治の遺族から“音楽界のために役立ててほしい”として遺産の一部が寄付されたことから、財団で検討した結果、「佐治敬三賞」の創設にいたりました。

— 記 —

1. 名 称 「佐治敬三賞」
2. 選考対象 毎年1月1日から12月31日の間に国内で実施された日本人を主体とする音楽公演で応募のあったものが対象になります。清新、独自、冒険の意欲、あるいは若々しさに満ちた企画であり、かつ公演成果の水準の高いすぐれたものを選定します。
3. 選考方法 応募のあった公演について審査を行い、翌年3月の佐治敬三賞最終選考会で受賞公演を選定、発表します。

4. 選考委員 選考はサントリー音楽賞選考委員により行われます。
* 第6回（2006年度）佐治敬三賞の選考委員は、
磯山雅、伊東信宏、岡田暁生、岡部真一郎、白石美雪、
植崎洋子、沼野雄司、船山隆、三宅幸夫の各氏です。
（50音順、敬称略）
5. 賞 賞状、賞金200万円
6. お問い合わせ先 サントリー音楽財団
〒107-0051
東京都港区元赤坂1-2-3 赤坂見附MTビル
電 話 (03) 3479-1594
F A X (03) 3479-2101
<http://www.suntory.co.jp/culture/smf/>

これまでの受賞公演

第1回（2001年度）

「篠崎史子 ハープの個展 VIII ～新たな領域を求めて～」

2001年10月19日 東京文化会館小ホール

「Just Composed 2001 in Yokohama ～現代作曲家シリーズ

～大野和士が描く新世紀の音楽絵巻」2001年8月31日

横浜みなとみらいホール

第2回（2002年度）

「アンサンブル・ノマド2002年度定期演奏会#1」

2002年9月17日 東京オペラシティ・リサイタルホール

第3回（2003年度）

「現代の音楽展2003 室内オーケストラの領域 III」

2003年3月17日 東京文化会館小ホール

第4回（2004年度）

「三井の晩鐘」

2004年10月24日 イシハラホール

第5回（2005年度）

「next mushroom promotion vol. 8 『細川俊夫～50年のランドスケープ』」

2005年10月15日 ムラマツリサイタルホール新大阪

第7回（2007年度）「佐治敬三賞」応募について

2007年1～6月実施公演の応募受付は終了しました。

2007年7～12月実施公演の応募方法は以下のとおりです。

- ・対象公演 2007年（平成19年）7月1日から12月31日の間に国内で実施される音楽を主体とする公演。
- ・応募方法 所定の応募用紙にて応募いただきます。公演の記録映像、録音、印刷物などがある場合は資料として提出いただく場合があります。応募要項・用紙は、住所・氏名・電話番号を明記の上、郵送またはFAXにてサントリー音楽財団までご請求下さい。また財団ホームページからもダウンロードできます。
- ・応募期間 2007年4月1日から5月31日

以 上